

石灰系固化材

ハードキープ[®]

L1.L2

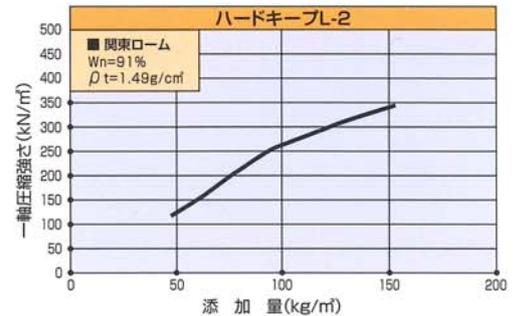
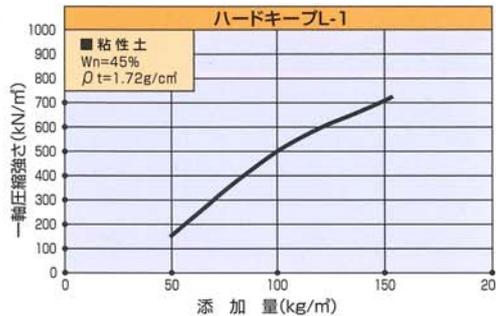
石灰系固化材Lタイプ

主に高含水比の建設泥土及び火山灰質粘性土の固化に使用されます。

L-1(石灰・セメント複合系固化材)、L-2(石灰系固化材)のグレードがあります。



ハードキープ[®]
測定例
L1.L2



添加量と一軸圧縮強さ

石灰系固化材・ハードキープLタイプ

◆石灰系固化材 **ハードキープ[®]Lタイプ**は、生石灰を主成分とした固化材で、土に混合すると水を吸収し、急速に含水比を下げると同時に土の塑性を改良します。長期的には、粘土鉱物とのポズラン反応により安定した地盤をつくります。

※本カタログに記載されている数値は、測定値の代表例です。※本カタログに記載されている内容は、本製品の適用結果を保証するものではありません。※本カタログの内容は、予告なく変更することがあります。

【使用上の注意】

①ハードキープLタイプは、地盤改良を目的とした石灰系固化材です。モルタルやコンクリートの用途には使用しないでください。また、事前に試験を行った上で適正な添加量でご使用ください。

②ハードキープを過剰添加した場合、結合水の不足による固化不良を起こす可能性があります。また、過剰添加による未水和のハードキープが残存した場合、施工後の降雨等による水の供給により膨張を起こす可能性があります。

③ハードキープと土の混合が不十分な場合、固化不良や膨張を起こす可能性があります。

④ハードキープL-1はセメント・石灰複合系固化材です。ご使用される前には、必ず、改良土からの六価クロム溶出量が土壌環境基準値以下であることをご確認ください。※参考「国土交通省ホームページ <http://www.milt.go.jp/tec/kankyoku/kuromu.html>」

⑤ハードキープは、水と接触すると水酸化カルシウムを生じ、アルカリ性(pH12~13)をしめすため、目、鼻、皮膚に炎症を引き起こす可能性があります。また、飲み込むと喉を刺激します。

⑥ハードキープを多量に長時間吸入すると人体に害を及ぼすおそれがあります。

⑦ハードキープが目に入ったり皮膚に付着した場合、速やかにきれいな水で洗浄し、専門医の処置をお受けください。また、吸入した場合、速やかに新鮮な空気の場所へ移動し、専門医の処置をお受けください。

⑧ハードキープを飲み込んだ場合は、水でよく口の中を洗浄してください。被災者の意識がもうろうとしている場合や意識がない場合は、無理に吐かせないで、速やかに専門医の処置をお受けください。

⑨ハードキープL-1には、極微量のクロム化合物が含まれているため、六価クロムに対して過敏な体質の場合、アレルギーが起こる可能性があります。

⑩ハードキープを取扱う際には、保護手袋、保護長靴、保護メガネ、防塵マスク等の適切な保護具を着用してください。

⑪子供に触れさせないようにご注意ください。

⑫フレキシブルコンテナの取扱いは、フレキシブルコンテナに取付けてある取扱い方法にしたがってください。

⑬ハードキープを施工現場に貯蔵する場合、接地面からの水濡れや降雨による水濡れがないよう、パレット敷きや防水シートの覆い等を十分行ってください。水分や湿気との接触は品質への影響がありますので、貯蔵はできるだけ行わず、速やかにご使用ください。

⑭ご使用後のフレキシブルコンテナやハードキープの残材は、法律に基づき適切に処理してください。詳細は、安全データシート(SDS)をお取り寄せしてお読みください。

【販売元】

トクヤマ通商株式会社 105-0014 東京都港区芝2-28-8 芝二丁目ビル3F

TEL 03-5418-1500 FAX 03-5418-1506

【製造元】

秩父石灰工業株式会社 104-0033 東京都中央区新川1-8-6 秩父ビル

TEL 03-3551-2191 FAX 03-3551-2197